

案内

第10回日本公衆衛生看護学会 学術集会10周年記念大会 6th International Conference of Global Network of Public Health Nursing 合同開催

日時：2022年1月8日(土)～9日(日)
[オンデマンド配信] 2022年1月4日(火)
～1月31日(月)

開催形式：オンライン開催

テーマ：平時が大事！ リスクに備え「生」
を衛るポジティブヘルス

プログラム：第10回学術集会長講演【合同】「災害対策における保健師の力」松本珠実（大阪市健康局健康推進部保健主幹）／6th GNPHN Presidential Speech（学術集会長講演）【合同】「公衆衛生看護技術の開発と実装」岡本玲子（大阪大学大学院公衆衛生看護学教室教授）／Keynote Speech（基調講演）【合同】「保健師：だれひとり取り残されない地域を見守る専門職」中村安秀（日本WHO協会理事長、大阪大学名誉教授、甲南女子大学看護リハビリテーション学部教授）／【合同】「疫学研究成果を保健活動に活かす——生活習慣病予防、エコチル調査など」磯博康（大阪大学大学院公衆衛生学教室教授、日本公衆衛生学会理事長）／シンポジウム【合同】「各国のCOVID-19対策における保健師活動の実際と展望」山本祐子（大阪府健康医療部健康医療総務課参事）、Mary Koslap-Petraco（ニューヨーク、ストーニーブルック大学臨床准教授）／Allison Roderick（南オーストラリア伝染病対策本部COVID-19管理者、感染専門看護師）／Dosoon Park（ゴンジンブライマリヘルスケア保健診療所、保健診療員）、Stella Iwuagwu（NPO健康権利センター事務局長）／招へい講演【JAPHN】「貧困・虐待…最底辺のリアルと向き合って」石井光太（ノンフィクション作家）／特別講演【JAPHN】「日本公衆衛生看護学会の成長と今後の展望」麻原きよみ（聖路加国際大学大学院看護学研究所教授）／特別講演【JAPHN】「保健所におけるCOVID-19に関わる統括保健師の活動」山崎初美（神戸市健康局保健企画担当担当局長）／シンポジウム【JAPHN】「高齢者自身が活躍し支え合う地域づくりとフレイル予防の今」河野あゆみ（大阪市立大学大学院看護学研究所在宅看護学領域教授）、田中明美（元生駒市次長、厚生労働省老健局地域づくり推進室室長補佐）、安斉智子（堺市健康福祉局生活福祉部

地域共生推進課参事）／Invited Lecture

【GNPHN】「精神障害者の脱施設化後時代における政策とプログラム：アメリカの経験」Phyllis Solomon（ペンシルバニア大学教授）／「10代母親のACE（逆境の小児期体験）が（育児・子どもの発達に）及ぼす影響の理解」大川聡子（関西医科大学看護学部准教授）、水粉茉莉香（門真市健康増進課保健師）／「日本の保健師によるニーズに基づく地域ヘルスケアシステムの開発」吉岡京子（国立保健医療科学院生涯健康研究部上席主任研究官）／「地域保健と学校保健の連携——そこに壁のない体制をめざして」中村富美子（静岡県沼津市立大岡中学校養護教諭）／ほか

参加登録期間：国内・国際学会共通（一般）2022年1月18日(火)まで

参加費：[国内学会（JAPHN）]（一般）会員1万1000円、非会員1万2000円、学生3000円

[国際学会（GNPHN）]（一般）会員2万5000円、非会員3万5000円、途上国1万2000円、学生1万円

※学生は大学院生を除く

問い合わせ先：[運営事務局] 日本旅行大阪法人営業統括部MICE営業部
〒541-0051 大阪市中央区備後町3-4-1
山口玄ビル6階

TEL：06-4256-3869

FAX：06-6204-1763

E-Mail：10th_japhn@nta.co.jp

URL：http://web.apollon.nta.co.jp/10ja-6gnphn/index.html

募集

木村看護教育振興財団 2022年度助成募集

■看護研究助成

助成対象：看護の質的充実・向上が期待できる先駆的研究で、療養環境に関わる研究など、臨床の役に立つ未発表のもの。共同研究歓迎。

2022年度助成する研究の分野：基礎看護、成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、地域看護、在宅看護、看護管理、看護教育、その他

応募資格・要件：

①申込者（共同研究の場合は研究代表者）は、日本在住の看護職者で、臨床・地域看護に従事している個人

②大学の教員、大学院生は対象とならない。ただし、大学院生でも、臨床・地域

看護に従事している看護職者は対象となる

③助成採択後、ただちに所属機関等の倫理審査委員会等への承認申請を行うこと。または、すでに承認申請中であること

④関係所属長の許可・推薦があること

⑤営利を目的とする研究は対象にならない

研究期間：2022年4月1日～2023年9月30日

助成金額：1件につき100万円を限度

助成金の使途および報告：

①助成金の使途には、研究協力者経費、旅費交通費、調査費、資料・印刷費、会議費、通信・運搬費、機器・備品費、消耗品費等を含む。ただし、給与形式の人件費は対象から除外（Webサイトの別紙「研究助成費目一覧」参照）

②助成金の使途については、助成対象研究に必要な直接経費に限る。間接経費は含まない

③助成金の使途については、収支状況表に領収書等を添えて詳細な報告をする

応募方法：下記Webサイトの「2022年度看護研究助成申込書」に必要事項を記入の上、本財団へ郵送する。

申込締切日：1月20日(木) 必着

選考結果：3月下旬に通知

助成金の贈呈：6月中旬予定

※助成が決定した研究の代表者は後日「助成金交付請求書」を提出

研究成果の報告：研究の成果および助成金の使途状況について、2023年9月30日までに本財団所定の様式により報告。研究成果は、2024年7月頃に発行予定の「木村看護教育振興財団——2022年度看護研究助成事業——『看護研究集録31号』」に収載。この研究集録は日本全国の主要な病院や看護系大学に配布予定。

研究報告書の内容は、国の内外を問わず、他の出版物（デジタル媒体を含む）にすでに発表あるいは投稿されていないものに限る。また、本財団の看護研究集録が発行されるまでは、他団体への投稿をしないこと。学会誌等に投稿する場合、二重投稿になる可能性があるため投稿機関に確認すること。

研究の成果を関係学会等に発表する際には、公益財団法人木村看護教育振興財団助成による研究である旨を明記のこと。

■専門看護師（CNS）奨学金助成

募集分野：2021年9月時点で公益社団法人日本看護協会専門看護師制度委員会が

特定している、次の13専門看護分野について募集する。

がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護

支給対象者：看護系大学大学院修士課程専門看護師教育課程2年コースの2年次進級予定者で、次の①②を満たしている者

①大学院は、日本看護系大学協会により専門看護師教育課程の認定を受けた大学院の当該課程に在籍している者

②臨床あるいは地域看護の分野で専門看護師認定を受けられる実務経験を満たせる者

支給額：年額60万円

支給期間：1年間（4月から翌年3月まで）

支給条件：看護系大学大学院専門看護師教育課程に在籍し、修学中の者で2023年3月に同課程修了後、専門看護師として必ず資格認定を受け、認定された看護専門分野の臨床に2年以上就業することを確約できる者。ただし、支給条件に反した場合には、奨学金の返還を求める。

奨学金申請手続きに必要な書類：

①本人記載の申請書

②専門看護師としての将来展望、抱負

③1年次前期の成績証明書

④指導教員の推薦書

⑤5年以上の実務経験（すべて）を証明する書類

※②の書面の様式は自由。ワープロ1200字程度を上限にA4版で記載すること

※③④についてはそれぞれ封印されたものを同封すること

※⑤は必要に応じてコピーして使用のこと

※③⑤のうち、提出できない書類がある場合は、理由書を同封すること

奨学金受給者の事後報告義務等：

証明に関するものは、その都度速やかに提出すること

①大学院修士課程、専門看護師教育課程の修了を証明するもの

②専門看護師の認定を証明するもの

③就業先の在籍を証明するもの

④氏名や住所等の変更

申込締切日：1月20日（木）必着

※助成が決定した研究の代表者は後日

「助成金交付請求書」を提出

【共通】

問い合わせおよび申込書送付先：公益財団法人木村看護教育振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14 8階

TEL：03-5800-2700

FAX：03-5800-0022

E-mail：kimura-info@nurseed.jp

URL：http://www.nurseed.jp/

案内

日本医学看護学教育学会 第32回学術学会

日時：2022年3月5日（土）

会場：ANAクラウンプラザホテル宇部（山口県宇部市）、一部オンライン配信

テーマ：心不全パンデミックへの挑戦

プログラム：会頭講演「“こころ”に心を奪われて」大草知子（ころ吉訪問診療クリニック院長、元宇部フロンティア大学人間健康学部教授）／特別講演「Creating successful

medical team for heart failure care (tentative)」Professor Anna Strömberg (Department of Health, Medicine and Caring Sciences, Linköping University)／シンポジウム『包括的チーム医療で取り組む心不全』「残された課題としての心不全」木原康樹（神戸市立医療センター中央市民病院院長）、

「心不全患者の在宅療養を支える心不全チームの取り組み——今、看護師にできること、やるべきこと」前田靖子（名古屋澄心会名古屋ハートセンター看護部長）、

「循環器病対策推進基本計画と地域医療」名越究（島根大学医学部環境保健医学講座教授）／市民公開講座『こころと睡眠』「きょういくときょう

ようで認知症予防」宮崎総一郎（中部大学生命健康科学研究所特任教授）、

「心臓病と睡眠について」安藤眞一（九州大学病院睡眠時無呼吸センター教授・センター長）、

「動物の時間から見た睡眠」本川達雄（東京工業大学名誉教授）

参加費：（事前参加登録）一般会員3000円、非会員4000円、学部学生2000円、（当日登録）一般会員4000円、非会員5000円、学部学生2000円

事前参加登録締切：1月19日（水）17:00

納入期限：1月26日（水）

振込先：ゆうちょ銀行〔店名〕五五八（読み：ゴゴハチ）普通預金〔口座番号〕3191412 第32回日本医学看護学教育学会学術学会

参加登録方法：下記Webサイトの参加登録フォームより

問い合わせ先：第32回日本医学看護学教育学会学術学会運営事務局

〒755-8588 山口県宇部市相生町8-1 ANAクラウンプラザホテル宇部内

TEL：0836-22-0250

FAX：0836-22-0125

E-mail：jamne32frontier@gmail.com

URL：http://www.jamne.org/meeting/32.html

お知らせ・投稿募集

KANGO：The Japanese Journal of Nursing 創刊

概要：

①国内で初めて、学会ならびに特定の大学・教育研究機関に帰属しない看護系オープンアクセスジャーナルである。

②投稿資格は問わない。

③投稿論文は約1か月で迅速に査読し、アクセプトされた論文は速やかにJ-Stageにて公開する。

④看護のパフォーマンスを向上させる高度な研究・開発を促進するために、新たに看護・医療・福祉・政策に関する教育研究成果を国内外に発信するジャーナルをめざす。

※詳細は下記Webサイトにて公開

代表・編集委員長：渡邊順子

問い合わせ先：静岡県立大学看護学部

篠宗一

E-mail：kango2020-office@umin.ac.jp

URL：http://square.umin.ac.jp/KANGO/



※掲載している情報は2021年11月10日時点の内容です。学会開催の有無など、最新の情報は主催元にご確認ください。